

平成28年度 第1回 学校評議員会

○日 時 平成28年6月21日（木） 午後6時00分～

○場 所 千早赤阪村立千早小吹台小学校 校長室

○出席者 学校評議員 大西 市伽子・ 土井 典子 ・ 米原 尚子
校 長 當麻 裕彦
教 頭 蔦 亜紀朗（進行）

○協議された意見の概略

①学校評議員の活動について

- 村教育委員会による評議員の委嘱と、学校評議員制度の説明

②本年度の学校経営方針について

- 学校教育目標・スローガン・教育方針の説明
- 「やさしさと 笑顔いっぱい为学校」
- 豊かな心 確かな学力 健康な身体
- 学校支援地域本部事業によるボランティア活動の支えが手厚い本校を、地域の方とともに、より開かれた学校を、地域の方とともに作っていききたい。

③学校評議員の皆様からの御提言等

<学校の取組みに関して>

- 学習参観の案内を学校評議員にも送付してもらっているのはよいこと。
- 5月に1日フリー参観を設定されているがよい。3日間連続でフリー参観日を設けている学校もある。
- マラソン大会は、地域の方からも温かい応援をいただいているいい取組みである。
- 学校だよりは、地域全戸配布でありがたい。行事予定もよく分かる。
- 図書ボランティアとして関わっているが、メンバーは楽しんで参加し、無理をしないことを心がけている。長続きの秘訣である。そういった活動を、学校の先生方に受け入れてもらえることがありがたい。先生方は、ふだんよく話し合いをされて協力し合っている感じがする。
- 子ども安全見守り隊の方も、その日最後に登校してくる子を待ってくださったりしている。安全・安心という点で、心強い。
- クラブ活動支援に関わっている。時間が限られているので難しいが、もっと本格的な制作活動ができればなお良い。
- クラブオープンデーを6月29日のクラブ活動日に設け、ボランティア支援に関心をも

っておられる方に参観していただけるよう計画している【学校】

- 子育てが一段落した頃、学校支援で関わられたらうれしい。
- 少子化、児童数減少に直面している。人口が増えることに村の取組みが繋がれば。
- 村の良さを誇りに思う郷土愛を、教育活動で大事にしたい。金剛登山も継続する。【学校】
- 中学校でも、史跡を探訪する「村巡り」をしている。
- 学力面でも、小・中のつながりが生きるとよい。小学校の学習の積み重ねが、中学校での学習に生きると実感する。
- 中学校まで見通した学力観をもって、小学校としての教育を進めたい【学校】
- 漢字検定は以前のように実施しない？
 村立中では英検は1回受検できるようになっているが、小学校での漢字検定は、予算化されていない。
- 百人一首なども、学校全体で取り組んだりすると、中・高での古典の学習に生きる面もある。遊びから生きる学力も、小学校段階では大切にしてほしい。
- げんき保育園でも、かるたに取り組んだり、アメニモマケズを暗唱したりしている。先につながる体験、楽しんで学ぶ機会を、大切にしてほしい。
- 土曜日は休業なのに、学習内容は増えた。先生方は大変だと思う。負担の軽減で、部活の休養日の設定などが言われているが、逆行している。生徒のやる気にも影響するし、私学は別なので、部活を休むことに抵抗もあると思う。
- 小学校のクラブ活動も、年間6回しかないので、本当は児童ももっとやりたいのではないか。
- 好きなことを見つけ、進んで取り組める、小学校生活であってほしい。
- プライベートのことでも、「こんな賞をとりました」と朝礼で表彰してあげてもよいのでは。学校以外での活躍で、当たらな一面を知る機会になる。自慢みたいになって難しいのかもしれないが。
- 学校通じての応募での入選・入賞は、朝礼で表彰している【学校】
- 学校行事（卒業遠足、臨海学舎）について見通しを説明。【学校】